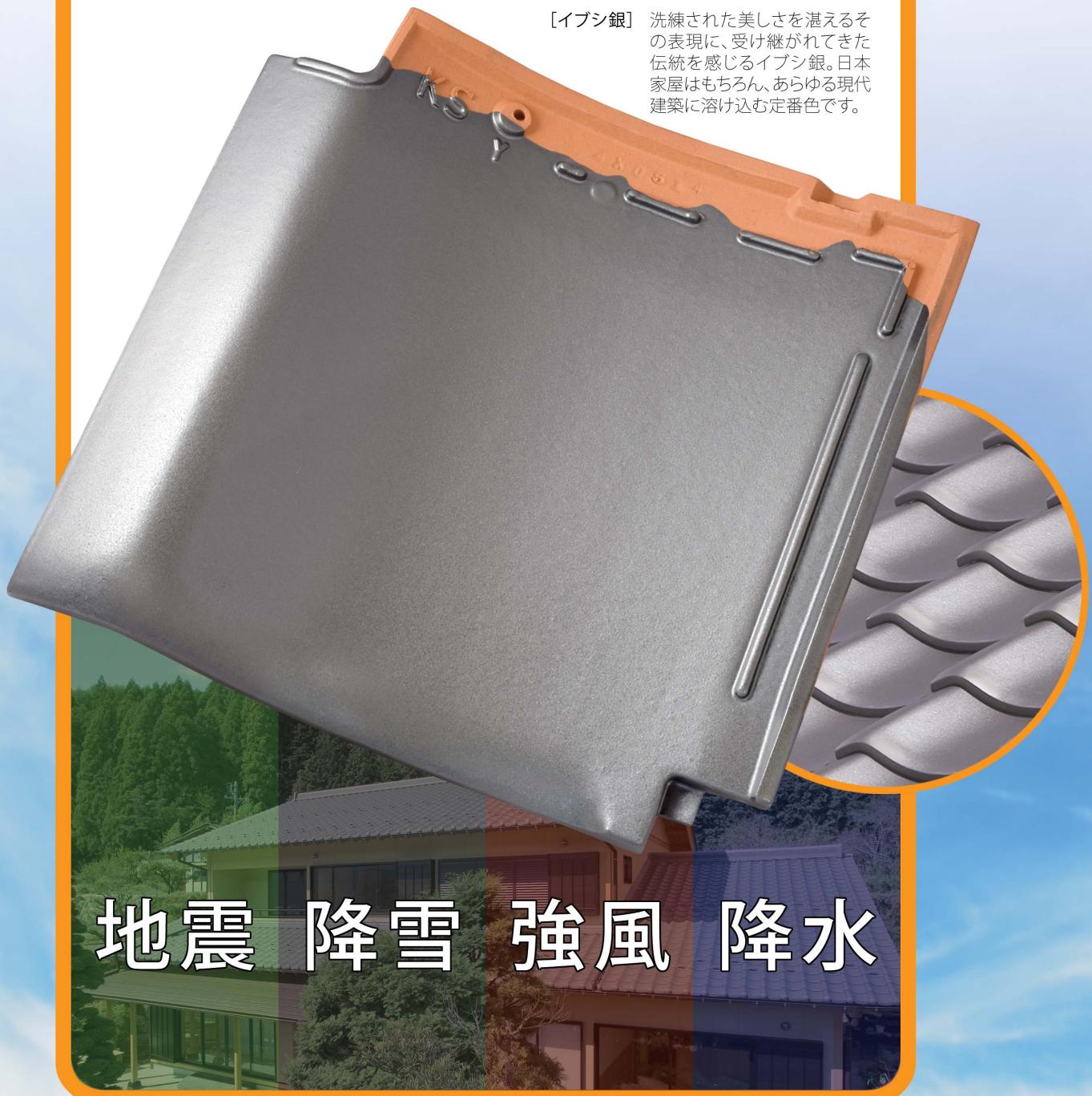


# 災害に強い 瓦のご提案

## 緩勾配防災瓦

[イブシ銀] 洗練された美しさを湛えるその表現に、受け継がれてきた伝統を感じるイブシ銀。日本家屋はもちろん、あらゆる現代建築に溶け込む定番色です。



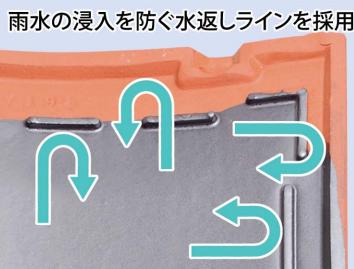
地震 降雪 強風 降水



### 耐震・耐風性能



### 高い防水性能



### 地震に強い

万一の地震時にもジョイント構造でガッタリ固定。瓦のズレや落下を防ぎます。

### 風に強い

台風や突風による瓦の被害をしっかりガードし、ズレや飛散を防ぎます。

### 水に強い

陶器質特有の滑らかさで雨の走りがよく、素早く流れ落とします。また吸水率も低い。

### 雪に強い

雪の加重を分散するので、屋根の痛みを防ぎます。

### 軽量化

瓦そのものの軽量化を図り、建物への負担を軽減しました。

### 標準屋根勾配とその流れ長さ

標準屋根勾配	3.0／10	3.5／10	4.0／10	4.5／10	5.0／10	5.5／10	6.0／10
その流れ長さ	3.8m	6m	8m	10m	12m	15m	17m

### 製品仕様

寸 法	全長 305mm ( $\pm 3.5\text{mm}$ )	全幅 305mm ( $\pm 3.5\text{mm}$ )
働き寸法	長さ 235mm ( $\pm 3.5\text{mm}$ )	幅 265mm ( $\pm 3.5\text{mm}$ )
働き枚数・重量	16枚／m <sup>2</sup> = 53枚／坪	2.7kg／枚 = 143kg／坪

### 防水性能試験データ

屋根勾配	2.5／10	圧 力	1470pa(風速49m／秒)
降 水 量	240mm/hr	試験結果	水滴付着のみ

\*漏水試験結果は漏水水量に応じて「水滴付着」、「流れ出し」、「吹き出し」という表現にて表します。漏水量としては、「水滴付着」が最も少なく「吹き出し」が最も多い表現となります。

### ⚠ 必ずお読みください。

#### 安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になります。
- 寒冷積雪地域あるいは強風地域では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした地域で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。
- 万一の台風・強風・地震の後には、専門工事業者の点検を受けられることをおすすめします。

#### 製品に関するご注意

- カタログの写真と実物とは多少異なる場合があります。
- 自然の風合いを活かしているため、粘土瓦特有の色幅があります。
- 経年による自然な色合いの変化の可能性がありますが、製品の性能に影響はありません。

#### 粘土瓦の特徴について

- 瓦は天然原料である粘土を原料とした大型厚物焼成品です。粘土は採取場所により、その成分・性質は微妙に異なり、同一の採取でも全く均一ではありません。このように瓦は原料自体が均質化された工業原料ではなく、自然から生まれた生きた粘土を使つたため、それ自体が機械化に向くようできていません。科学的な管理が難しい焼成品です。日本の瓦は約1,000年以前から作られてきましたが、製造技術・焼成技術が飛躍的に進歩し、大量生産できるようになった現在でも「瓦は天然原料を使った自然素材である」ことを理解いただき、その特性をあらかじめご承知置きください。
- 粘土成分の違いや気圧など気象条件による焼成窯内雰囲気の変化により、微妙な色ムラが発生している場合があります。
  - 焼きもの特有の若干のネジレや寸法のバラつきがある場合があります。また瓦は重ね合わせて施工していくまで、葺き上げ後に瓦と瓦の間にスキマが発生することがあります。
  - 施工後、日焼けによる色あせやホコリの付着などによる色合いの変化が発生する場合がありますが、屋根材としての品質・性能および耐久性を損なうものではありません。
  - 陶器瓦(釉薬瓦)は貫入(かんにゅう)と呼ばれる表面亀裂が生じる場合がありますが、これは陶器製品特有の釉薬表面層に発生する亀裂であり、本体生地までの亀裂ではなく品質の劣化を伴うものではありません。
  - 陶器瓦(釉薬瓦)には釉薬面にビンホールと呼ばれる小さなへこみや粘土素地の露出が生じている場合があります。釉薬の気泡や粘土に含まれる有機物などが燃焼して発生するものですが、焼きものとして、また屋根材としての品質上の問題は一切ありません。
  - いぶし瓦は経年の変化による黒ずみなどの色変化が発生する場合がありますが、これは自然素材であるいぶし瓦特有の現象であり、品質の劣化を伴うものではありません。
  - いぶし瓦は粘土に含まれる鉄分が瓦表面にある場合、雨水により点状の赤錆が発生する場合がありますが、これは品質的な劣化ではなく、表面層での一時的な現象であり、拡大したり、また内部に進行したりするものではありません。
  - 製品は改良のため予告なく変更することがあります。
  - 製品カタログ等の色調は、印刷のため実際の色とは多少異なる場合があります。

### お取扱店



### Sansyu Kawara Japan グループ

(株)神清・碧南窯業(株)・シノゲン瓦工業(株)

J形瓦メーカー3社が協力し、三州瓦の新ブランドを創設。耐震性・耐風性・耐久性に優れた、高機能かつ高品質なJ形瓦を皆様にお届けします。



### かみ せい

株式会社 神 清

〒475-0807 愛知県半田市八軒町28番地  
TEL (0569)22-4711 FAX (0569)22-9367

[URL] <http://www.kamisei.co.jp> [Mail] [info@kamisei.co.jp](mailto:info@kamisei.co.jp)